

「なすかしの森 冬のファミリーフェスタ」報告

実施日：令和元年12月21日（土）～22日（日）1泊2日

場 所：国立那須甲子青少年自然の家

【目的・趣旨／概要】

- （１）元バレーボール女子日本代表大山加奈さんを講師に、夢に向かって努力する姿勢やボールを使った運動の効果を学ぶ。
- （２）運動不足になりやすい冬期に体を使ったスポーツを行うとともに、青少年期の体験活動や基本的生活習慣の重要性を普及する。

【連携先】（団体名・講師名・連携内容等）

・元バレーボール女子日本代表 大山 加奈 氏

【募集対象／実績】

《募集対象》小学生・中学生を含む家族・グループ

《実 績》46名（未就学児3名、小学生24名、中学生1名、保護者 18名）

【プログラム内容】（企画にあたって特に工夫したこと）

（１）体験の風応援団プログラム

①「スペシャリスト交流会」12/21（土）13:00～14:00

自身の経験から夢に向かって努力する姿勢や周囲の協力の大切さや思いなど、バレーボールを通して学んだことについてお話しいただいた。

②「ボール遊び体験教室」 12/21（土）14:30～15:30

風船やソフトバレーボールを使い、体の動かし方・ボールの扱い方・コミュニケーションの大切さを様々なゲームを通して楽しみながら学んだ。主に家族でグループを作り、普段とは違った方法でコミュニケーションをとることで絆を深めた。

（２）「キャンプファイヤー」12/21（土）19:00～20:00

プレイホール内にある室内キャンプファイヤー場で、歌・踊り・ゲーム等様々なスタントや1日の振り返りを行い、参加者同士の相互交流を図った。

（３）「レクリエーション大会」12/22（日）9:00～11:45

参加家族が3つのグループに分かれて、以下のニュースポーツを順番に体験した。

- ①キンボール
- ②タグラグビー
- ③ラダーゲッター



【成果】（目的に対する評価、参加者のコメント等）

- ・「スペシャリスト交流会」では、夢をかなえることだけではなく夢に向かって努力してきたことが大切であるといった話しがなされ、実体験による説得力のある内容に参加者全員が集中し聞き入っていた。
- ・「ボール遊び体験」では、準備運動からゲームが盛り込まれ、終始楽しく体を動かすことができた。ソフトバレーボールや風船を使って、協力し合いながら家族同士また家族間で交流を図ることができた。幅広い参加年代のそれぞれが体力に合わせて体験できた。
- ・「キャンプファイヤー」では、様々な歌やゲームを通じて参加者間の交流を図るとともに、火の明るさ・暖かさを感じることもできた。
- ・「レクリエーション大会」では、幅広い年齢層でも体験することができるニュースポーツを3競技実施した。多くの参加者が初めて体験するものが多く、どの種目も熱心に取り組んでいた。

《参加者の声》

「いろんなスポーツを体験できてよかった」「キンボールが楽しかった」「またニュースポーツをやりたい」「ボランティアの大学生がよくしてくれた」「日ごろ運動不足なのでかなり疲れました」「タグラグビーをもっと時間をかけてやりたかった」等

【課題と方策】

- ・募集対象とは異なるがせっかくの機会のため、近隣のバレーボール部にも事業を案内したが、練習試合等が計画されており参加に至らなかった。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】事業推進係：宮崎一彰